

平成25年11月26日

行政視察活動記録

総務常任委員会
委員長 江村 信介

年月日	平成25年11月18日 から 平成25年11月19日 まで
場 所 及び目的	兵庫県 加東市議会 公共施設マネジメントへの取組について 京都府 舞鶴市議会 公共施設マネジメントへの取組について

年月日	平成25年11月18日（月）
相手方 及び目的	兵庫県加東市企画部企画政策課 「公共施設白書作成及び公共施設マネジメントへの取組について」
内容・ 結果等	<p>兵庫県加東市は、平成18年に社町、滝野町、東条町が合併して誕生した市であり、「住みよさランキング2010」において787都市中全国第31位に選ばれた市である。</p> <p>加東市では、合併により市内に機能等が重複した公共施設があることから、今後の公共施設のあり方について検討し、積極的に公共施設マネジメントに対し取り組んでいる。</p> <p>公共施設マネジメント白書作成における加東市の特徴は、平成21年度に事務事業評価に着手し、公共施設等維持管理台帳を作成していることが挙げられる。公共施設等維持管理台帳を作成したことにより、これまでは公共施設の整備に注力してきたが、施設運営や維持管理に係るコストの把握が不十分であったことなどが判明したとのことである。このことにより、次のステップとして公共施設マネジメント白書を作成し、公共施設の現状と課題を把握することにより、公共施設のあり方や方向性を定め、課題に取り組むことができるとのことであった。</p> <p>また、加東市における公共施設マネジメント白書は、市職員が自前で作成したことも注目される。市職員自らが公共施設白書を作成することにより、市職員の公共施設マネジメントに対する意識が高まったとのことである。</p> <p>今後は、公共施設マネジメントの基準作成や市民への周知方法などについての課題に取り組みつつ、公共施設再生計画を策定中とのことであり、現在、公共施設白書を作成中であるさぬき市における公共施設マネジメントの参考となる点の多い、実りある視察であった。</p>



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 7 名、総務部 1 名、
議会事務局 1 名、 計 9 名

年 月 日	平成 2 5 年 1 1 月 1 9 日 (火)
相 手 方 及 び 目 的	京都府舞鶴市企画管理部企画室企画政策課、総務部管財契約課 「公共施設白書作成及び公共施設マネジメントへの取組について」
内 容 ・ 結 果 等	<p>京都府舞鶴市は、市域の東西にそれぞれ中心市街地を有する複眼的都市であり、いわゆる「平成の大合併」による市町村の合併を経していない。</p> <p>平成 2 5 年には市制 7 0 周年を迎えた市であり、戦前は日本海軍の舞鶴鎮守府が置かれ、戦後は引揚港となった、赤レンガの街並み美しい歴史のある市である。</p> <p>舞鶴市の公共施設においては、施設の老朽化が進むことにより集中する改修や建て替え、公共施設に対する市民ニーズの変化、防災力の強化など様々な課題があったことから公共施設マネジメントに取り組んでいるとのことである。</p> <p>舞鶴市における公共施設マネジメントの特徴は、今後の財政力に応じて施設の総量抑制を図り、今後も存続させて活用する施設については利用者ニーズに応じた質の向上を図るところとしているところである。</p> <p>また、舞鶴市では公共施設マネジメント白書作成後、早期に公共施設再生基本計画作成に着手し、公共施設の現状を分析し、評価を A・B・C の 3 段階に分類し、再生計画内での優先順位を 1 0 年以内、2 0 年以内、3 0 年以内の 3 つの優先度に分類して取り組むとのことである。</p> <p>今後、本市においても公共施設マネジメントを進めていく中で様々な課題が予想されるが、今回の視察で得られた取り組み事例を参考に調査研究を進め、議論を深めることが必要であると確信し、視察を終えた。</p>



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 7 名、総務部 1 名、
議会事務局 1 名、 計 9 名